

日 時： 令和2年2月13日（木）13時30分～14時45分
場 所： 射水市役所201・202会議室
出席者： 委員15名

1 議題及び会議の結果

(1) 第2次射水市健康増進プラン（案）について

第2次射水市健康増進プラン(素案)に対する意見募集を実施したところ、4件の意見があった。それぞれの意見を精査してプランを修正又は参考意見とした。

第2次射水市健康増進プラン（案）を当協議会の前回指摘事項や庁内関係各課からの意見等を基に変更した。

(2) 8つの行動目標について

市民一人ひとりが自ら健康な生活習慣を実現するため、8つの行動目標のキャッチフレーズ及びそのタイトルを決定した。

(3) その他

第2次射水市健康増進プラン（概要版）の内容を当協議会からの意見を基に修正する。

2 報告事項、協議事項及び会議資料

【審議事項】

(1) 第2次射水市健康増進プラン（案）について (資料1・2)

(2) 8つの行動目標について (資料3)

(3) その他

【資料】

- ・資料 1 「第2次射水市健康増進プラン（素案）」の意見募集結果について
- ・資料 2 第2次射水市健康増進プラン（案）について
- ・資料 3 8つの行動目標について
- ・参考資料 第2次射水市健康増進プラン（概要版）

3 会議内容

(1) 開会

- ・配付資料の確認等

(2) 会議成立報告

- ・委員16名に対し15名の出席があり、本会議が成立している事を報告

(3) 会長あいさつ

(4) 審議事項

- ・事務局より資料説明
- ・質疑応答

<質疑応答事項>

議題（１）第２次射水市健康増進プラン（案）について

【会 長】

事務局からの説明について、ご意見やご質問をお伺いします。

43 ページ中段の「母と子の朝食摂取状況の関連」のグラフは初めて認識した。母親が朝食を食べないと子どもも欠食がちだと学校保健会等でも話をしていたが、具体的にデータが出ている。これだけ結果に差があれば説得力がある。

第２次射水市健康増進プランの冊子はこの後、議会を通った後、ダイジェスト版が作られ、市民に配布されるのか。

【事務局】

後ほど説明するが、本日机上配布した参考資料３「第２次射水市健康増進プラン概要版」がある。概要版では健康増進プラン全体の概要を説明している。

またそれぞれの取り組みについては、事業ごとにデータ分析結果を抜粋するなどし、例えば「母と子の朝食摂取状況の関連」のグラフについては、３か月健診等の機会にデータを示しながら話をしていきたい。

【会 長】

保育園や幼稚園から発信するのも一つの方法である。

事務局に何を尋ねたのかという点、この場で各委員のお立場から、概要版にこのような情報を入れたらよいのではないか、とご意見いただければと思っていた。

私としては、「母と子の朝食摂取状況の関連」データのような資料は説得力があり、若い世代の食事について食育委員会でも問題になっていたため、説得力があるのではないかと。

また 68 ページに「認知症高齢者の推移」の表がある。平成 27 年～30 年の推移が載っているが、射水市は高齢者の方が増えていると思われるが、認知症高齢者が増えていない。平成 29～30 年では減っているくらいである。この数値は現実と合っているのか。また合っているのであれば、認知症に対してのどんな取り組みに効果があったと言えるのか。

【事務局】

認知症高齢者数は、実際に介護保険を受けられた方の実数を各年 10 月 1 日現在で出したものである。認知症高齢者の数はそれほど変化がないが、高齢者数がどんどん増えている。介護予防教室、きらら射水 100 歳体操、認知症予防の教室などを市内各地で開催している効果が現れているのではないかと評価している。

【会 長】

今後万が一上がった場合には、今説明されたことが覆されてしまう。安易な評価が難しいと思う。

【事務局】

65～74歳までの前期高齢者の認定率は約3.5%だが、後期高齢者の介護保険認定率は30%を超えている。ここ3～4年で後期高齢者が増えることで、認知症高齢者の実数は多少増える可能性はあるが、介護予防教室を行っていることで、認知症となる方の率は多少下げられているのではないか。

【会長】

認知症の方の中には、自分が認知症であると認めない方、家族が病院に行こうと促しても病院に来ない方などいろいろなパターンがある。射水市医師会では、市民の皆さんに認知症について広めるため、昨年認知症の市民公開講座を開催した。いろいろな形で認知症について知る機会を作ることによって正しい数値が出るのではないか。今後、認知症高齢者の率が上がらないことを期待している。他にご意見等はあるか。

【委員】

55ページの目標項目「妊娠中の喫煙率の減少」の目標値が0%ならば、「減少」ではない別の言葉を用いた方がよいのではないか。

【事務局】

目標項目の表現は、国の「健康日本21」の文言と合わせている。表現を変更してはならないというわけではないため、「ゼロを目指す」など表現を変更することもできる。事務局で検討させていただきたい。

【会長】

この項目では偶然目標値が0%であるが、ほかの目標項目と表現を合わせ「減少」や「低下」と表現したほうが市民もわかりやすいかもしれないため、事務局で柔軟に対応させていただきたい。

議題（2）8つの行動目標について

【会長】

8つの行動目標についてご意見やご質問があればお願いしたい。まず行動目標が必要ないと思われる方はいないということによろしいか。

第2次健康増進プラン（案）自体にボリュームがあるため、事務局も市民の方に認知してもらうための工夫をしている。もし何か抜けているものや、変えた方がよいものがあれば、発言いただきたい。

健康づくりに対して大切な要素が盛り込まれている。フレイルでいえば、【H】の社会環境（地域のつながり）が「社会的フレイル」、「心理的・精神的フレイル」でいえば【S】の休養・こころが「心理的・精神的フレイル」、【U】の健診・検診が「身体的フレイル」となり、循環器などいろいろなものが脳卒中の予防等につながっていくことになる。特にご意見なければ、事務局の案でよろしいか。

続いてタイトル案について検討したい。欠席された荒治委員のご意見がすんなりと入った。私も「試みる」という意味で「Let's トライ」がよいと思っている。特にこの3案以外の提案がなければ、挙手で決めたい。

【委員】

「Let's トライ」の「Let's」だけアルファベットなのは理由があるのか。「Let's」ならば中学生でもわかる、という意味で英語を使用したのか。

【事務局】

職員からいただいたアイデアをそのまま採用した。カタカナにしたほうがよいか。

【委員】

カタカナにすると、今度は意味が分かりづらくなる可能性がある。

【会長】

「トライ」を強調するためカタカナにした、など後から説明を加えてもよい。それでは③「Let's トライ！IMIZUSHI 健康8（エイト）」がよいと思われる方、挙手をお願いします。

（反対意見なし）

ありがとうございます。③の案でお願いしたい。

議題（3）その他について

【会長】

概要版について何かご意見等はあるか。

【委員】

8ページの【Z】の説明に「いつまでもおいしいものを食べ続けるために・・・」とあるが、美食のようなイメージである。「おいしく食べられる」といった表現にしたほうがよいのではないか。

【会長】

恐らく「いつまでも自分の歯でものを食べ続けるために」ということを言いたいのではないか。

【事務局】

本編 87 ページの文章では「正しい口腔ケアで、会話を楽しみ、食事をおいしく食べられる歯と口の健康を維持しましょう」と記載していたが、概要版では違う意味になってしまっていた。、「いつまでも自分の歯でおいしく食べ続けるために」と記載内容を変更したい。

【会 長】

全体の構成について、8ページの行動目標を1ページに持ってきて、現在1ページ目にある内容を次のページにすると、市民にインパクトを与えられるのではないか。

【委 員】

「自分の歯」という表現が少し引っかかる。歯が抜けていても良く、噛む行為が大切である。また「口腔管理」ということで歯の抜けたところに入れ歯を入れている。「自分の歯」というと、自分の歯ではない人もいるため表現としてどうなのかと思った。

【事務局】

表現方法を相談させていただきたい。

【会 長】

「定期的に歯科健診を！」という文章を強調するために「自分の歯を」と表現されていたと思われる。表現方法は相談するということでおまかせしたい。

【事務局】

先程、8ページの内容を1ページに持ってくるという提案があった。この概要版を使う機会は色々な場面が考えられる。一般の方向けにお話する際は8ページ目から説明し1ページに戻る場合もあれば、このような会議の場で説明する場合は1ページ目から段階を追うなど、場面によってどのページからでも説明することを考えている。県内の市町村によっては行動目標を1ページ目に持ってきているところもある。

【会 長】

使いようによって、ということである。そのあたりは事務局で検討いただきたい。他にになにかご意見はあるか。

【委 員】

概要版はすごく大事だと思っている。8つの行動目標をこれから射水市の中で流行らせば良い、と分かった。

3ページ以降の「みんなでめざす目標」、8ページの「8つの行動目標」と「目標」という言葉が多すぎて「8つの行動目標」がぼやけている。8つの行動目標も取り組むが、さらに「みんなのめざす目標」にも取り組む、ということなのか。本編に細かな目標が記載されているため、「みんなでめざす目標」ではなく実態を示す資料を載せたりしたほうが良いのではないか。

「みんなでめざす目標」という表現も、本編の「望ましい姿」の表現を用いて、例えば「運動」であれば「運動の意識が高まり、運動が習慣化される」くらいに留め、具体的な資料を見せるのもいいのではないか。

【事務局】

ここについては大変悩んだところである。本編では「市民・家庭の取組」「関係機関の取組」「市

の取組」と3つに分けて掲載している。概要版でそれぞれの役割を明確に表記するのか、もう少しわかりやすく表記するのかと悩み、最終的に「みんなでめざす目標」という形とした。

「8つの行動目標」が大きく目指すところであり、「みんなでめざす目標」はそれぞれの取組内容を具体的に書いた形で収まった。本編では「望ましい姿」を載せている。ここの表現についても、「みんなでめざす目標」なのか、「望ましい姿」なのか、迷っていたところである。

【委員】

「目標」という言葉が「8つの行動目標」と被っているため、「取組」といった表現を用いることで、「8つの行動目標」を見て、目標がこの8つだと色々な場でフォーカスできるようになればよい。

【委員】

本編でも「今後の取組」として「市民・家庭の取組」等を記載している。目標という表現ではなく、「取組」や「行動」など、実際に動いてほしいということが分かるような表現でよいと思う。

【事務局】

今頂いたご意見をもとに、もう一度事務局で検討させていただく。

【会長】

他にご意見あるか。

【委員】

概要版4ページに「高血圧とは収縮期血圧 140mmHg 以上または拡張期血圧 90mmHg 以上」とあるが、高血圧のガイドラインが変わったため、書き方を変えたほうが良い。

またアルコールについて、本編 53 ページに、「生活習慣病のリスクを高める飲酒量は、純アルコール量で1日あたり男性 40g 以上、女性で 20g 以上飲むこととされています。」と記載されているが、概要版では「適量は1日に日本酒1合程度。(純アルコール量で20g程度)」と記載されている。リスクとして考えたときに40g以上というのはわかるが、二つ書いてあると誤解を生むような表現になっている。

【会長】

本編 22 ページの表「有所見の判定について」の収縮期血圧、拡張期血圧の数値と概要版4ページの数値が矛盾しているため、きちんと合わせる必要がある。

【委員】

本編 22 ページの数値が正しい。

【事務局】

収縮期血圧、拡張期血圧の数値は再度確認する。

また飲酒については、概要版では適量をわかっているため、保健指導の時には1合程度と

言っていることからこのような表現とした。ここの書き方についても、「適量にしましょう」という言葉がよいのか、リスクのことも書くのか、もう一度検討する。

【委 員】

リスクを前面に出すと、適量と混乱してしまうため、気を付けていただきたい。

【会 長】

他にご意見はあるか。質問等よろしければ議事を終了する。

委員の皆様には、円滑な議事進行にご協力いただきありがとうございました。

(5) 閉会